

令和5年度まちづくり座談会における質問・要望事項と回答

■鷹山地区：11月20日（月）午後7時～8時30分

町からのテーマ 【ふるさと森林公園再整備について】

《質疑応答》

Q.株式会社 HESTA 大倉さんに運営関係がバトンタッチされる部分もあるし、アルカディア財団さんの方で引き続き責任を持って自分たちの可能な範囲で行っていくことを伺っているわけですが、準備からオープンまでの間、施設の利用ができないという期間があるのかどうか。それから今年度、中山地区の敬老会でもお世話になりました。支配人の竹田さんからは一応私たちの責任の範疇に入るかどうかは分からないけれども、来年度の希望については受けたまわっておきますということで、令和6年度についても中山地区としてはぜひお世話になりたいということで、仮予約みたいな話ですけれどもしてきました。管理者が変わってもそういうものを一応やれるという方向性が強いのか、今のところクエスチョンなんだなという方が強いのか、令和6年につながるという心構えが必要ですので、状況をお聞かせいただきたいと思います

A.（商工観光課長）初めの一点目の休む期間でございますけれども、やはり、引き継ぎの部分がございまして、どうしてもゼロというわけにはまいりません。それで今現在ですけれども、冬期間は毎月、一日だけ休業日を設けておりましたけれどもその期間を毎月三日間取らせていただきたいという部分と、3月の最後の1週間ぐらいですけれどもお休みをいただきたいということで今計画をしております。ただ、温泉の営業は最後の3月は温泉の営業だけは継続するというので今調整を進めております。

来年以降の予約でございますけれども、今現在お話を伺っているところでは、新しい指定管理者の方からも宴会の予約は受けてほしいということで聞いているということでございます。ただ、詳細な料理の値段とかそういった部分は今後正式に4月以降に調整をさせていただきたいということですのでけれども、例えば人数とか部屋とかそういう部分は予約いただくと聞いております。

Q.今まで新聞や町報で見ているとパレス松風の運営というのはだいぶ厳しい感じで、これまでやってこられたのかなというふうに思います。どうやって黒字化を図っていこうというふうに考えていらっしゃるのかなというところをお聞きしたいなと思いました。

A.（町長）バブル崩壊後、経営が厳しくなってきた。大震災や、豪雨災害が追い打ちをかけ

てきた。会場の使い方も非常に難しい。この辺についていろいろ検討しながらやっていきたいと思っておりますけれども、やはりあそこは町民の皆様方から活用していただくのが一番だと思う。私がこの立場にいるときは中心にやらせていただきます。そしていろんな形で利用していただくことを考えていきたいと思う。

Q.町民を考えたときにこれから子どもたちがだいぶ数が少なくなってきて、最近は部活動の地域移行なんていう話もありますし、やはりそういったスポーツ少年だったり、部活が少しでも使えるようなせっかくテニスがあったりとか、広大な広さもあるので、そういった団体がトレーニングをしたり、そういった意味ではレクリエーションとか健康増進というところがいいのかもしれませんが、上山のクロスカントリーコースとかあいったところの施設もちょっと山の中を整備すれば走れるコースができたり、散歩できるようなコースができたり、疲れたら温泉に入ったりということもできますし、さまざまなそういった他のいいところも真似するのもお金もかけずにできるところもあるのかなと思うので、ぜひその町民だったり使いやすいような施設になればいいなというふうに思います。

A. (町長) 素晴らしいご意見をいただいた。さまざまな部分で楽しんでいただける施設を目指していきたい。今後もいろいろなこと、気付いたことを教えていただければありがたいと思いますので、よろしくお願いします。

Q.利用するにあたり食事が目的というのはかなりあると思うんですよ。やはり今までもこういった形で使わせてもらったんですけれども、安かろうが悪かろうというんですか、そういったところでどうせ飲むんだったらそこに行って飲むべ、料理もうまいし、安いし、行ってみるかというようなものって正直言って、やっぱりないんだと思うんですよね。やっぱり値段もちょっと高いし、宿泊するときにも安いんだけど、料理もちょっとまだやっぱりどこかの料理屋さんに行った方がいいかな、というような部分もゼロではないんじゃないかと思います。食事だけでも行ってみるかというようなものがあつたらいいなというような気がしますので、そんなふうな場所になってほしいと思います。

A. (副町長) アルカデア財団の理事長という立場もさせてもらっております。料理の関係とかサービスについても厳しいご意見をたくさんいただいております。常に改善しようということで努力はさせてもらっておりますけれども、来年度以降の大倉さんの経営になりまして、その辺は私の方でも期待はさせてもらっております。ぜひ、皆さんが本当に行きたいというような場所になるようにこちらからも働きかけていきたいというふうには思いますので、貴重なご意見ありがとうございました。

Q.ほりわりの交差点と国道 348 号の、進捗状況や今後の展望を教えてください。

A. (建設課長) このほりわりにつきましては、例年春先ですけれども、地区の区長さん方からご要望を頂戴しております。今年度に入り、課題解決にむけたルートの検討に着手をさせていただいているところでございます。このルートの検討するにあたり、国道 348 号については県が管理している道路であるというのがまず 1 点、それからバス停については山形交通のバス停であるというのがもう 1 点ありまして、県、それから山交バスの方とも打ち合わせをさせていただいております。そういった中で危険を回避して安全にバスに乗りいただく、またこの交差点をより安全に通過していただく、といったことを念頭に置きながら今ルートの案を検討している最中でございます。そのルートの案につきましては、いずれ皆様にお示しできる機会も来るかと思っておりますので、その際にはまた改めて町の方から連絡をさせていただきたいと思っておりますので、どうぞ、よろしくお願いを申し上げます。

348 号については令和 3 年度に整備促進の期成同盟会が設置されたところでございます。令和 5 年度も総会を開催させていただきましたけれども、その際には、県選出の国会議員が 5 名、それから 4 市 4 町から出ている県議員さん、全部で 14 名ほどいらっしゃるんですけども、そういった方々に対しまして整備促進の要望書といったものを出させていただいているというふうな状況です。町の重要事業要望の一つに位置づけまして整備促進の要望を出していくというふうな状況になっております。

Q. 令和 2 年に銃所持しました。町の方から本当に補助いただきましてありがとうございました。しかしながら、その時限りで銃を持っていれば年間結構かかるんですね。町からの負担補助などはないか。

A. 銃保持に関して、貴重なご意見いただきましたので、今後持ち帰りまして、猟友会の幹部の皆さん方にもお話ししながら検討させていただきますように思っております。よろしくお願いたします。

Q. 先ほどパレス松風までの道路の話があった。荒砥駅からパレスまでロープウェイを走らせるのはどうか。

Q. 少子高齢化が進み、人口も減ってきている状況。地域コミュニティの運営についても大変苦勞しているところです。今後、本当にお年寄りばかりになって区の運営ができなくなった場合、どうしていったらいいか、その辺ちょっと解目見解がつかないので、教えてください。

ければ大変有り難いです。

A. (町長) 目の前に迫っている究極の話ということだと思います。黒鴨のように区を合併した例もあります。地区の皆さんからご意見をいただきながら、早め早めに対応してまいりたいと思います。